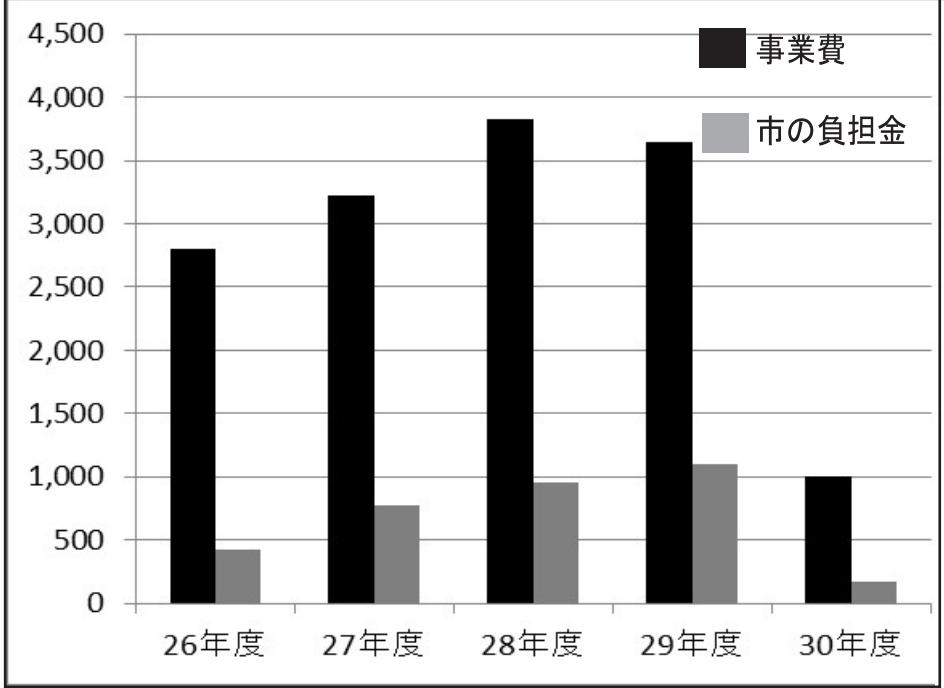




国際バルク戦略港湾の事業費は135億円

(単位:百万円)



国の大号令で進められた「国際バルク戦略港湾」の工事が完了しました。

釧路港をトウモロコシ輸入の拠点港にするのが目的です。大量に輸入すれば穀物価格も安くなつて、酪農家の経営も助かるという触れ込みですが、西港第二ふ頭の突端を

輸入が増えて安くなるのか？

14メートルに掘り下げて、L字型の新しいふ頭をつくり、ここに

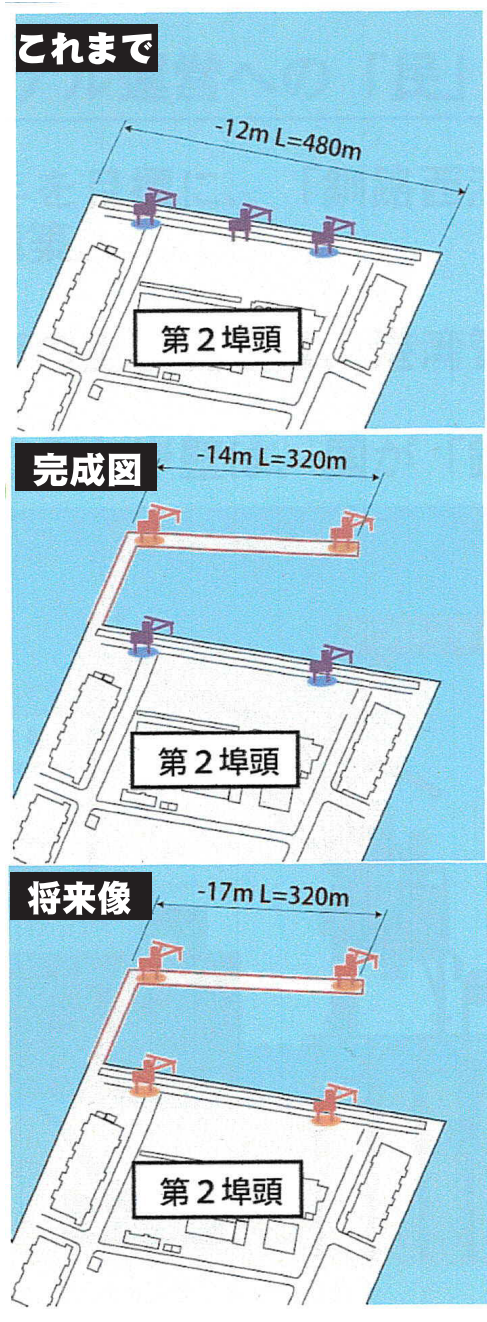
大型開発を見直して、福祉・くらし、教育に予算を回そう。



自衛隊艦船などが次々、釧路港に入港

ここ数年、矢野別演習場での訓練の際に、釧路西港が武器・車輛の搬入に使われるケースが激増しています。29年度だけで12回も入港しました。(下記の表参照) なかには、「掃海艇」や「ミサイル艦」なども含まれています。

これまで、根室の花咲港が使われることが多かったのですが、昨年から、もっぱら釧路港で



超大型の輸送船を入港させます。それにしても総工費は135億円、市の負担額は34億円にもなりまして、重い負担が市にのしかかっています。

しかし、問題はそれだけの需要が果たしてあるのかということ。トウモロコシの輸入量はここ数年、70~80万台で横ばい。本来、牛は草を食べて育つもの。穀物を大量に与えれば短期的には乳量は増えますが、病気がち

酪農はトウモロコシから放牧中心に

しかし、問題はそれだけの需要が果たしてあるのかということ。トウモロコシの輸入量はここ数年、70~80万台で横ばい。本来、牛は草を食べて育つもの。穀物を大量に与えれば短期的には乳量は増えますが、病気がち

になって経営を圧迫します。そうしたことから、輸入トウモロコシから牧草中心に、牛の飼料も大きく変わっていきます。



蝦名市長は、「国防は国の専権事項で地方自治体があるこれ言うべきものではない」が持論、釧路港の軍事利用を容認しています。

6月29日	輸送船	ナッチャンworld
7月7日	輸送船	おおすみ
7月10日-13日	輸送船	おおすみ
7月28日-31日	ミサイル艦	くまたか
8月12日	フェリー	はくおう
8月13日	貨物船	清松丸
8月14日	貨物船	昇徳丸
8月15日	RORO船	神明丸
8月31日-9月1日	掃海艇	ながしま
9月1日	貨物船	神王丸
9月1日	フェリー	はくおう
10月6日-9日	補給船	ましゅう



紙 智子 はたやま和也

村上かずしげ通信

2018.11.11 発行 日本共産党釧路市議団 TEL23-5212

